

緊急要望書

八千代市長
服部友則様

2020年5月22日
日本共産党八千代市議団

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言がいまだ解除されていない千葉県です。長引く自粛要請により暮らしも生業も破綻せざる得ない方が増えてきました。

先日、臨時議会において国からの支援には専決処分の承認を得て、さらに市独自の支援も一歩進んだことには感謝いたします。

しかし、給付金の申請や手続き、さらに緊急事態宣言解除後の学校や保育園等の再開について不安の声が強く、また生活困窮者への支援もさらに緊急性を増しています。

市民のために思い切った取り組みを以下のように緊急に要望致します。

要望内容

1. 中小企業経営支援金の継続と条件緩和をお願いいたします。

・支援金の条件が前年比50%以上の減少とされ、支援金額が10万円と決まりました。2か月近くにわたっての緊急事態宣言に一回だけの支援では、経営を持続させることが厳しい業者が多くいます。継続して10万円を支給してください。さらに条件を前年比30%以上減少と条件の緩和もしてください。

2. 10万円の給付金の申請や手続きに支援をお願いいたします。

・申請時に通帳のコピーや身分証明書のコピーを添付するようになっていますが、自宅でコピーできない高齢者がコンビニなどで慣れない作業をするのは大変なことです。直接窓口に来た場合でも申請を受け付けてください。
・外出できない、また一人暮らしの高齢者に対して申請の意思確認をして申請の支援を行ってください。

3. 資格証明書の方へ国民健康保険証の送付をお願いいたします。

・新型コロナウイルスに限り窓口3割負担で医療が受けられるとされていますが、これでは他の病気かもしれないと思い、医療にかからず感染拡大の恐れがあります。せめて短期保険証の送付をすることで、感染拡大の恐れを無くすようにしてください。

4. 学校再開にあたっての準備、支援の拡大をお願いいたします。

- ・子どもたちが安心して登校できるように、体温計やマスク、消毒薬など各学校への準備を早急に進めてください。
- ・就学援助助成金の申請が4月に遡って受けられる締め切りが5月末とされていますが、いまだ緊急事態宣言は解除されていなく、6月以降にも生活が破綻される家庭が出る可能性があります。せめて船橋市のように7月末まで申請を伸ばすようにしてください。

5. 保育園の再開は保護者や子どもの不安に寄り添った取り組みをお願いいたします。

- ・休園要請が解除された後の保育にあたっては、長く家庭保育を行った子どもたちに、いきなり一日保育は負担が大きいものとなります。保護者との話し合いと子どもたちの様子を見て、柔軟な登園計画が進められるようにしてください。

以上